



## かえで ゆうびん 12月

2019年12月2日  
社会福祉法人 清松学園  
幼保連携型認定こども園 かえで保育園  
園長 引地 美津代

今年も一か月となりました。2019年は平成から令和に年号が変わる特別の年でもありました。かえで保育園にとっても理事長の交代もあり2020年はまた違った意味で新しい年を平和な気持ちで迎えらることを願っています。

先日の天皇陛下即位をお祝いする式典での嵐が歌われた奉祝曲の中で大変印象に残った歌詞がありました。

「君が笑えば、世界は輝く。誰かの幸せが今を照らす。僕らの喜びよ、君に届け・・・」

「大丈夫、鳥は歌っている・大丈夫、空は輝いている・大丈夫、水は流れている・大丈夫、海は光っている・大丈夫、君と笑っていく・大丈夫、君と歩いていく・・・」

最近では自然の事象のリズムが合わず、たくさんの災害が世界を襲い、これからの未来はどうなっていくのだろう・・・と不安に思うことばかりでしたが、この歌詞の中にたくさんの穏やかな自然の営みの様子が歌われ、「大丈夫」の言葉が繰り返され、新年号が変わって穏やかで平和な世界になってほしいと思いました。

今、「COP25」で16歳のグレタさんが運動をされ、その考えに世界中の若者たちが賛同し、どんどん輪が広がっていますが、この先どうなっていくのでしょうか・・・私たちができることはありますか？ごみをできるだけ少なくする・使わない電気は消す・温暖化を少しでも止めることを考えていかねばなりません。

そして、保育園の役割は子どもの育ちを丁寧に支えながら、一人ひとりの子どもたちが人として生きていく基礎を作ることを大切に保育を行っています。この子どもたちが将来、不幸なことや悲しいことにできるだけ会わずにいてほしいですし、出会ってしまったとき、立ち向かう勇気と考える力を持ってほしいと願わずにはられません。

2019年の締めくくりとして、お子様の成長をお伝えする「成長発表会」を予定しています。

子どもたちが毎日の保育園生活の中で培ってきた出来事を短い時間ですがまとめてご披露します。

めばえ・ふたばはお遊戯や誘導された演技はしません。なぜなら子どもたち一人ひとり表現することや感じるものが違います。名前を呼んで手を挙げたり、着たくもない衣装を身にまとって先生のすることを真似てさせることに成長を感じていただくのではなく、4月からどのように赤ちゃんから人らしく変化してきたかの様子をお見せします。運動発表会の乳児クラスで、演技や何かをさせてもらえなかったというご意見があり、かえで保育園の保育内容をご理解して頂けていないようでした。

もっと子どもが育つとはどういうことかを伝えられたらと思い、発表会の内容も話し合いました。

めばえからだいちへ向かって成長していく一年一年を感じていただければとプログラム内容も工夫しました。どうぞお楽しみに！！

### かえでカフェ

フラダンス随分上達しました。「童」を仕上げていきます。

2月の「楽しいかえでの日」に披露します

次回は2月5日（水）16：30～17：50

それまでにランチルームにみんなで復習しましょう＊

### ダンディ・タイム

次回は1月25日（土）14：00～17：00活動

17：00～19：30慰労会

皆さんご参加ください。



## にこにこメッセージ

11月は比較的気温の高い日が多く、子どもたちは外遊びをたくさん楽しめました。

泥団子・野球・長縄・しゃぼん玉・色水・どんぐり探しなど遊びも広がってきました。園庭や公園で拾ったどんぐりの殻をむき、中の実をすり鉢で潰して、「どんぐりジュース」と命名したジュースも出来上がりました。誰かが見つけた遊びが他の子に広がり、また友だちと共有することで楽しさが膨らみます。子どもの発見には日々、大人の私たちも楽しくなります。これから来る冬の遊びでの子どもの発見を楽しみに保育を進めていきます。

12月14日は「成長発表会」です。言葉や生活の成長を中心にめばえ・ふたば・つぼみぐみは普段のあそびの一場面を紹介します。また、幼児クラスは異年齢で過ごす中で日々の生活や遊びから、劇遊び・音楽遊びとして、プログラムを構成しました。

毎日のように「トン・ウン トン・ウン」と楽しそうに繰り返される言葉が2階から聞こえたかと思うと軽快なリズムと歌声がどんどん事務所の方へ近づいてきます。様子を見ると歩きながらタンバリンをたたく4人の子どもがやってきました。いろいろな人に手拍子と拍手をしてもらおうと「また来ます」と言って笑顔で次の部屋に……。日常の遊びの中でリズムを刻むことを体感し、楽しむことから、合奏などへつながっていきます。「成長発表会」保護者の方も楽しみにして下さっているように、子どもたちもその日を楽しみにしています。

主幹教諭 藤森 寿美

太陽が出ている時間が短くなり、園庭に出ると肌寒くなってきましたね。少しでも温まろうと、みんなで追いかけてこをしては、暖をとっています。

いつものように築山に寝転がり、みんなで日向ぼっこをしていたときのこと。視界のあちこちから「ばぁっ」と覗いてはお腹に乗ってきました。一緒に青空を見渡すと、「あおいねえ』『雲がいっぱいだね』『くも?』『ふわふわ?』『うさぎさんみたいだねえ』『うさぎさん?』『うん、うさぎさん』『あれは~?』『ぱくっ!おいし!』との可愛らしい会話が。大人が入らなくても会話が広がっていくことに驚きを感じ、その想像力の自由さは大人が入らないからこそなのかな、とも思いました。秋空の気持ちよさをより実感できました。

乳児リーダー 谷角 早紀

## 今月の先生コーナー

先日、だいち組の武田尾廃線跡へのお出かけへ参加させてもらった時の事です。

武田尾は山の中にあり自然豊かで、豊岡で生まれ育った私にとってはどこか懐かしく感じる場所でした。歩いている途中には、子どもの頃拾ったりちぎったりして遊んでいた見慣れた植物も沢山生息していました。そこで近くにいた子ども達に「ねえ、この葉っぱ知ってる? くつつくんだよ」と一枚葉っぱを取って服につけてみました。すると「えっ!すごい」「ほんまや!」「なんで?!」と想像以上の反応が!

子どもの頃に自分が楽しんでいたことを、かえて保育園の子ども達が楽しんでくれたことがなんだか嬉しくなりました。また田舎の知識を子ども達に伝えていけたらいいな、と思う出来事でした。

立田 瑛怜菜

## ～めばえぐみ～

ねらい：「友だちとの関わりを楽しむ」

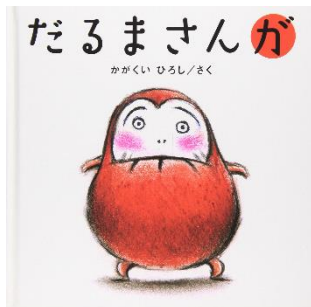
う た：「あかはなのトナカイ、てをたたきましょう、おちよず」

暖かかった秋も終わり、寒い冬がもうそこまでやって来ていますね。半袖から長袖に衣替えをしても、子ども達は相変わらず元気いっぱい遊んでいます。園庭にもどんぐりや落ち葉が落ち、すっかり木々も冬支度とりました。触るとクシャッとなる葉っぱやツヤツヤのどんぐりに子ども達も興味津々です。始めは見るだけでしたが、今では自分で掴んでみたり、どうぞと渡してくれたりするようになりました。次はどんなことへ興味が広がっていくのか楽しみです。

### ～めばえ組初めての公園～

園庭やお部屋でたくさん歩く事ができるようになってきた子ども達。滑り台も一人で滑ることが出来る様になり、毎日一目散に階段を目指しています。気持ちのいい気候になった事もあり、小さな可愛い靴を履き初めてみんなで交通公園へお散歩に出かけました。

バギーに乗って保育園を出発すると大興奮で体を揺らし、先生の歌に合わせて手を叩き、ルンルンな様子。春に乗っていた時にはぶかぶかだったベルトがきつくなっていたり、「出して～」と泣いていた子ども達が笑顔で道行く人に手を振っていたり、大きくなったなあ、とみんなの変化に嬉しくなりました。公園に着くと、様々な遊具に目を輝かせあちこちを探検しました。大きな葉っぱを見つけたり、ベンチによいしょ！と登ってみたり・・・気になるところへどんどん進んでいく、好奇心いっぱい・逞しい子ども達でしたよ。



### ～だるまさん～

絵本が大好きで先生が用意する様子を見ると、すぐに近くまでやって来て「まだ？早く！」と座って待っていてくれます。動物や食べ物等たくさんの絵本を楽しんでいるのですが、その中でも子ども達が一番好きな絵本は「だるまさんシリーズ」です。読み始めた頃はじーっと見ている子ども達でしたが、今では絵本の真似っこがとても上手になりました。「だるまさん



の～♪」という先生の言葉に合わせてみんなで左右に揺れ、目、毛、手も「ここだよ！」としっかりアピールしてくれます。どてっ、にこの動作と言葉もばっちり、繰り返しかわいい姿を見せてくれますよ。動きも言葉もどんどん吸収している子ども達。新しいことを覚えるは、いつも私たちを驚かせてくれます。

次はどんなことをしてくれるのか、毎日楽しみです。

### “担任の思い”

室内遊びではお絵かきや、パズルや型落とし等少しずつ座って行う遊びも取り入れています。数人ずつで取り組んでいるのですが、名前を呼ばれると「なあに？楽しいことするの？」と自分で椅子に座りワクワクした表情を見せてくれます。11月はみんなが興味をもっているどんぐりに関係する遊びも行いました。初めての素材や遊びにびっくりしたり、喜んだり、手触りが苦手だったり・・・新しいものに出会うときの子ども達の表情はとてもイキイキとしています。そんな表情がたくさん見られるよう、これからも移り変わる季節や、新しい出会いを大切に楽しんでいきたいと思ひます。

## ～ふたばぐみ～

ねらい：「自然に触れて遊びを楽しむ・異年齢の子との関わりを楽しむ」

う た：「パンダ・うさぎ・コアラ」 わらべうた：「こっちのたんぼ」

風が冷たくなってきましたが、太陽が出ているとポカポカ暖かく園庭でも走り回って遊んでいる子ども達です。園庭でもお部屋の中でも、友達同士で楽しそうにお話をする姿がたくさん見られるようになってきました。おもちゃの取り合いの喧嘩をしていたと思ったら、心配して頭をなでてあげていたり、一緒に笑ったり泣いたりクラスのお友達が大好きなふたば組です。

### “あおむしさんがやってきた”

10月にふたば組で種を植えて育てていた小松菜は、あっという間に大きくなり、収穫してご飯の時間に食べてみる事が出来ました。

ある日小松菜の様子を見に行くと、葉っぱに緑のあおむしがいるのを発見！小さなコップに入れてあげると興味津々に見ていたので、虫かごを用意してふたば組で飼ってみることにしました。虫かごの中に土を入れてみたり、食べられそうな葉っぱを探して入れてくれたりして、あおむしさんのお家が完成しました。



そこからあおむし観察のスタートです。毎日外に虫かごを持っていき、うんちを綺麗にして、新しいご飯を入れてあげます。保育者がやっている

とあつという間に虫かごの周りには子ども達でいっぱいになり、「どこにいるの？」

「あ！いたいた」「動いてるねー」と小さなあおむしさんに顔を近づけてじーっと見えています。今日のご飯で使う野菜の切れ端を買いに行ったり、毎日あおむしさんのことを忘れずにお世話をしようとしてくれています。

ところがある日、二匹飼っていたうちの二匹が寄生虫によってなくなってしまいました。子どもたちなりに心配して見に来てくれて、「土に埋めてあげよう」と声をかけるとスコップを持ってきて優しく土をかけてくれました。「ばいばい、元気でね」と何度も手を振ってお別れをしました。もう一匹は、ふたにくっついてさなぎになろうとしています。

どんなちょうちょうになって出てきてくれるのかな・・・

これからも子ども達と一緒に観察を続けていきたいと思います。



### “担任の思い”

あおむし観察を通して、子ども達も他の虫や保育園の中にある葉っぱや咲いている花など、前よりももっと興味を持つようになった気がします。お家の中を“きれいにしてあげよう”“おいしいご飯をあげよう”などあおむしさんが心地よく過ごせるように何をしてあげたらいいのか、何も言わなくても分かっているようで、私たちがいつも大切にしていることが子ども達に少しでも伝わっているのかなと思うと嬉しくなりました。

最近ではクラスの友達だけでなく、めばえ組のお友達や園庭ではつぼみ組や幼児のお友達との関わりも増えてきました。優しく手伝ってあげたり、見て真似をして楽しい遊びを見つけたりなど、異年齢の子との関わりの中で遊びも広がっていきたくらいなと思います。

原田 千尋・林 千紗・安藤 由佳

## ～つぼみぐみ～

ねらい：「異年齢との関わりを楽しむ・身体を動かしてたくさん遊ぼう」

うた：「あわてんぼうのサンタクロース」「なべなべ」「あたまかたひざぼん」

風が吹くと冷え込む季節になりましたね。追いかっこやボール遊び、鉄棒で身体を動かして遊ぶことが増えてきました。フラフープや短縄で電車ごっこから「誰か乗りませんか」「次は〇〇に行きますよ」とお友達を誘う姿も見られます。『どんぐり』の歌を口ずさみながらどんぐりや落ち葉を拾ってごっこ遊びに取り入れたりと、この時期ならではの遊びを楽しんでいます。

## ～いろんな秋みつけた～

東三公園までお散歩に行きました。お友達と手を繋いで「公園で何する?」「お花あるかな?」と話をしながら歩きました。公園では広場で追いかっこをしたり、様々な色の花や葉っぱを見つけたり、大きい、小さい、茶色、緑のどんぐりを見つけては見せ合っていました。たくさんの落ち葉を集めて空に舞いあげたり、色の違いや好きな形の落ち葉を見ながら秋の自然にたくさん触れることができました。見つけた落ち葉やどんぐりは園に帰ってから観察したり、ままごと遊びの材料になっています。大きな枝にはのりで紅葉した葉っぱやどんぐりをそっとつけていました。ままごと遊びでは、お弁当を作ってマットを敷いてピクニックごっこが始まりました。今度はみんなで公園に食べに行こうね。



## ～取っちょうぞ! しっぽとり～

ボール遊びや鉄棒、短縄、フラフープと子ども同士で身体を動かして遊ぶことが増えてきました。その中でも最近、つぼみ組で流行りになっているのが『しっぽとり』です。ひらひら動くしっぽは取れそうでなかなか取れないことが楽しいようです。「取っちょうぞ～」と追いかける側と後ろを見ながら追いかける側、どちらもなんだか嬉しそうに走っています。繰り返し遊ぶうちに先生と子ども達からいつの間にか子ども同士で遊びが進むようになってきました。最近は園庭に出る時は「しっぽちょうだい!」とお互いの後ろにしっぽをつける姿が可愛らしいです。「一緒にしよう」「今日は何する?」と子ども同士で誘い合いながら園庭に走り出しています。



## “担任の思い”

幼児さんが短縄や追いかっこや野球をして遊ぶ様子をじっと見つめて、真似て遊ぶ姿も見られるようになりました。年上の子の遊びへ憧れをもったり、年下の子のお世話をしたい気持ち等、遊びをとおして1つの遊びから様々な遊びに発展しています。園生活をとおして異年齢の子との関わりから新たに発見したことや知ること、感じることの経験する機会を作っていきたいと思います。

日笠 加菜・星加由美子・山本あかね

## ～いびきぐみ～

ねらい：「ルールのあるあそびを楽しむ」「身体が温まる方法を知り、健康に過ごす」

う た：「さんぽ」「つき」

朝と夕方の園庭も、寒暖の差が激しくなってきました。なるべく身体を動かして楽しめるリレーや大縄、サッカーなど楽しみながら過ごしていますが、園庭の奥を覗くとカエルの砂場にぎゅっと身を寄せ合い“女子会”が行われていることもありました。これも子どもたちの工夫の一つですね。一方で、サッカーゴールの前に列を作り、ゴールキーパと1対1の対決を楽しむ姿も見られました。寒さをしのぐための方法を工夫することも一つですが、身体を動かしてあそぶことも取り入れることで、身体が温まることを知り、友だちと楽しさを共有する喜びを味わう機会にもなればと考えています。

### “はじめてできた！ひとりでできた！”

る日の園庭での出来事、「ねえ先生、前回りしたいんだけど」とAちゃんがぼつりと教えてくれました。簡単そうに見える前回りにも、難しいステップがいくつかあります。まず鉄棒をぐっと押しながら身体を持ち上げる動作は、ジャンプのタイミングや腕で押し上げる力も大切です。鉄棒にお腹をつけた後も、子どもからすると下に落ちていくような感覚があるようで、「前にたおれるの、こわい」と話す子どもも少なくありません。身体が硬直してしまい、背中がうまく丸まらないこともあります。回りきった後にも、腕の力を抜いてしまうと着地がうまくいきません。一つの動作の中にもこれだけの工程があり、子どもたちは何度も繰り返し様々な経験を重ねる中で自然と体の使い方やコツを覚えていくのです。Aちゃんは鉄棒にお腹をつけたところまでは出来ましたが、前に倒れることに怖さを感じているようでした。しかし怖いと感じていることを「やってみたい」と一歩踏み出せたAちゃんの心に感心し、自分で出来た時の達成感や喜びを味わってほしい、と思いました。まずは保育者の手の平におでこをつける、という動作で前傾姿勢になることに慣れていきました。「先生、手伝って。持っていてね」とドキドキした様子で身体を保育者に預けます。ゆっくりと回っていくと…回れた！以前は手伝ってもらっても回ることを怖がっていたAちゃん、一度一緒に回れると、そこからは何度も何度も挑戦していました。その様子を見ていた友だちも、一人二人と挑戦してみたいと並び始め、いつの間にか鉄棒の前には長蛇の列が出来ていました。



体育あそびの日、「ゆうき先生にも見せてあげようね」「前回りたくさんできるね」と楽しみにしていました。この日に出来るようになった子はいませんでしたが、出来るようになりたい気持ちはどんどんと高まっていきました。そして翌週の木曜日、「今日も前回りしようね」と張り切っています。少し怖いけれど、自分で出来るようになりたい気持ちもあり、「ひとりでやってみる」とAちゃん。鉄棒を握る手にも力が入ります。ゆっくりと身体を前に倒し、えい！と回りました。「できた！」ひとりで回れたことがとても嬉しくて笑顔が溢れます。後ろで見ていた友だちもどんどんと挑戦し、何とこの日に初めて一人で回れた子、怖いけれど支えてもらいながら回れるようになった子が沢山いました。つぼみ組の頃にいびきさんの成長を見てくれていた先生にも伝えたいね！と、みんなで星加先生の元へ。嬉しそうに何度も回って見せていました。そして保護者の方がお迎えに来られた時、「今日ね、前回りひとりで出来たんだよ」と話しているいびきさん「みせてみせて」と日が暮れる前の園庭に一緒に出て見守ってくれている保護者の方とのやりとりを見かけ、あたたかい気持ちに包まれました。

### “担任の思い”

今回はAちゃんの姿に刺激を受け、“出来るようになりたい”という気持ちが芽生えた子、背中を押されて勇気がわいてきた子がいました。もちろん大きな怪我に繋がらないように、手は必ず握っていることなど所々で声はかけますが、自分自身で物事を経験していくからこそ、“出来るようになりたい”と感じたり、出来た時の喜びを感じられるのだと思いました。

大人になると初めて出来るようになることはあまり多くはありませんが、子どもたちはこれから、いくつの“はじめて”に出会っていくのでしょうか。その“はじめて”にいつかは一人で立ち向かっていく子どもたちが、自信と勇気を持って前にすすめる心の土台作りが今のこの時期であると感じます。

また、園の中で生まれた成長の瞬間を、子どもたちと保護者の方が少しでも多く喜び合えるようなきっかけ作りができれば、と思っています。

河本 彩奈

## ～ひかりぐみ～

ねらい：「友だちと一緒にすることを楽しむ」

う た：「赤鼻のトナカイ」「バナナのおやこ」

11月になり様々な形のどんぐりを集めて、子ども達も秋を感じているようです。園庭に出ると、肌寒い日も、異年齢で鬼ごっこをしたり鉄棒の練習で出来ない技を挑戦する姿も見られ、自然と身体を動かしながら遊ぶことも増えてきました。夕方、園庭から室内に入った後「すぐ真っ暗になるね」と、夏とは違う空の様子を子ども達と感じています。秋になって季節の変化を感じると共に、日々新しいことへの挑戦・発見をしている子ども達です。

### “お守り”

だいち組がお泊り保育に向けて準備している様子を見ていた子ども達。ひかり組で集まった際に、「みんなは保育園にお泊りできる？」と尋ねると「出来ない」と言う子どもがほとんどで、家族と離れることは寂しい様子でした。だいち組のみんなも不安な子どももいると思うから、ひかり組から何か出来ないかなと話し合ったところ、「手紙をあげる」「折り紙を折ってプレゼントする」「絵を描く」など様々な意見がでました。そこでみんなで考え手裏剣のお守りを作ることになりました。ペアの友だちのことを考えながら折り紙を2枚選んでいました。「〇〇ちゃんはこの色が好きだからこれにする」とペアの子どものことをよく見ている事が伝わりました。手裏剣を折れない子どもが何人かおり、先生が何も言わなくても、手裏剣を折れる子どもが教えている姿がありました。出来ないと言いつつも、友達に教えてもらいながら、一生懸命作っていました。いつでも見られるように手首に付けられるようにしようという意見からゴムをつけました。「喜んでくれるかな」とドキドキしていました。



だいち組を呼んで、1人ずつ一言添えてペアの友達に渡しました。恥ずかしがりながらも「お泊り保育頑張ってるね」と伝えると、「ありがとう」と言ってくれました。ひかり組もだいち組も照れていましたがすごく嬉しそうで、渡し終えると安心し、ほっとした表情の子ども達でした。

### “新しい命をみつけたよ”

カブトムシが最後の1匹が亡くなり、子ども達は寂しそうにしていました。土に埋めてあげようか、部屋でみんなで大切に保管しておくか子ども達で話し合い、部屋に保管することにしました。みんなが観察したりできるように「大切にしようね」と約束をして綿の上においてあげました。「もうカブトムシいないのかな」と思い、子ども達と土を全部ひっくり返し確認しました。すると、1匹、2匹とカブトムシの幼虫が姿を現しました。元気に動く様子を見て「いきてる！」ととても嬉しそうなお子達。合計で4匹の幼虫がいました。カニもまだ元気に生きており、ひかり組の生き物のお世話はまだまだ続きそうです。「早くカブトムシにならないかな」と待ち遠しい子ども達でした。



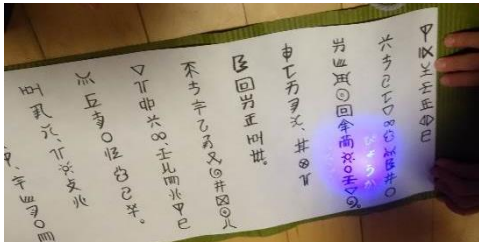
### “担任の思い”

だいち組へのお守りを作ったことから子ども達の中で、「来年は自分たちの番だ」と感じた子ども達が何人かいました。だいち組のようにお泊りやお出かけなど、様々なことがしたいという気持ちがひかり組の中で大きくなってきていることが伝わる瞬間があります。子ども達の思いを聞くと面白く、実現できればいいなと考えています。また、生き物のお世話では、子ども達で出来ることが増えてきているので、友達同士で協力し合ってお世話してほしいと思いながら見守っています。 松岡 桃花

## ～だいちぐみ～

ねらい：「人前で表現することを楽しむ」「相手に伝わりやすいように言葉で伝える」

う た：「ちきゅうのシンフォニー」



### “忍者現る?!”

子どもたちがずっと楽しみにしていたお泊り保育。忍者から初めて巻物が届いた日から、「お泊り保育のときには、忍者も一緒にお泊りするんじゃないかな。」と話していました。

お泊り保育前日になると、また忍者から不思議な巻物が届きました。

暗号を組み合わせていくと、忍者と東三公園で一緒に修行をしようと言われていました。子どもたちは大興奮で、忍者について調べ始めます。いったいいつの間に巻物を持ってきているのか、天井には忍者が通る道が続いているのではないかと、どうしていつも見守ってくれているのか…。中には、忍者は令和では人手不足だから、忍者になってほしくて巻物を届けているんだ、という意見まで出るほど、みんな一生懸命に考えていました。

そして、お泊り保育当日。「昔のご飯を作って食べよう!」ということで、朝から手打ちうどん作りが始まり、お昼になると手作りの梅干を入れたおにぎりをつくり、いざ東三公園へ!早速おにぎりを食べようとしたとき、木の陰から突然忍者が走り去っていきました。(河田先生、ご協力ありがとうございました。)本当に忍者がいてびっくりした子どもたちの興奮はなかなか収まりませんでした。

そして、夜には待ちに待った夕食の時間。グループでの出し物もしました。「先生たち、全員が一緒にご飯を食べるよ。」と伝えてから、どうすれば楽しんでくれるか一生懸命悩んで、意見を出し合う姿が見られました。今回は一人一人が意見を出すこと、また相手の意見を聞き入れることを大切にできるように敢えて担任がグループを分けて見守ってきました。グループ名を決めるのに、1日かかったグループや、してみたいことがありすぎて、一度解散したグループ、意見がなかなか相手に伝わらないグループなど、グループごとに様々な姿が見られました。しかし、お泊り保育当日には、一人一人が役割を持って、全員が主人公になって楽しむことができているように感じます。ただ楽しいだけでなく、一人一人の思いが、周りとは繋がるお泊り保育になったのではないかと思います。

### “200年前へタイムスリップの巻”

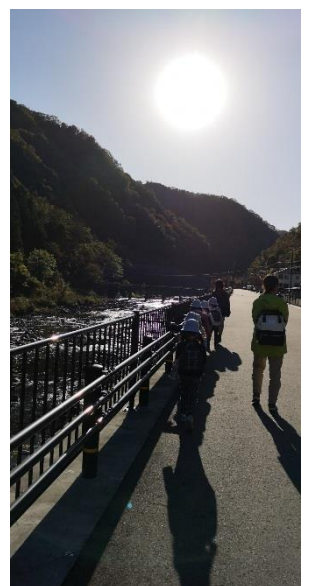
お泊り保育が終わってからも忍者や昔の生活への思いは冷めないままで、

みんなでタイムスリップをしに不思議なトンネルに出かけようと、武田尾の廃線跡まで出かけました。真っ暗なトンネルの中は、ヘッドライトをつけながら進みましたが、全員ライトを消して光が全くない情景を体験することもできました。目を閉じても開けても同じ情景はなかなか体験する機会もないと思います。子どもたちも少し怖がったりしながらも、その不思議な世界に興味津々でした。

そしてトンネルと抜けるとそこにはきれいに紅葉した山々や、勢いのある川。思わず子どもたちも、「タイムスリップ成功!」と声をあげるほどでした。

そのあとも自然のなかで過ごす子どもたちはとても生き生きとしていて、川の近くで昼食をとると、「今日のおにぎりは最高!」と最高の笑顔を見せてくれたり、一つ一つが昔のものに見えてくるようで、すれ違う人たちをみて

「あの人もタイムスリップしに来たんだね。」と静かに話す様子も見られました。小さな不思議や幸せに気づくことが出来た1日でした。また15人全員で、昔を探しに出かけたいです。





## “担任の想い”

お泊り保育では子どもたちのなかでは忍者に出会えたことが一番印象強かったようですが、そばで見守っていた私にとっては、一人一人の気持ちをまっすぐ相手に伝えることや、自分だけでなく、ほかの友達を気遣うことができた行事になったと感じます。うまくいかないことも経験することで、たくさん困ったと思います。これから生きていく中でうまくいかないことが必ずあるからこそ、今、うまくいかなかったときに考えること、行動することを体験してほしいと思いグループを分けました。すると普段見られないようなやり取りも見られ、一人一人が他人事じゃなく、相手に向き合っているように感じました。

4月から今まであつという間で行事が終わっていく瞬間が毎回寂しく感じます。12月は成長発表会が待っています。自分たちがやってみたいことを話し合って進めていく中で、いま子ども達のテーマになっていることは「ひとはみんなのために、みんなはひとりのために」という言葉です。一人一人が自分のことを大切にしながらも、まわりの人に思いやる気持ちを持って行動できるように考えながら過ごしている最中です。残りの時間を一緒に笑って、考えて、過ごしていきたいです。

林 奈津美

## 新しい先生の紹介

11月からかえで保育園に勤務しております。安藤由佳です。

結婚を機に、今年の6月、西宮に引っ越してきました。以前は九州の佐賀県に住んでいました。佐賀の子ども園で5年間、保育教諭として勤めていました。

佐賀の子ども園では、0歳児から4歳児まで持ち上がりで担任を受け持ってきました。0歳児の乳児だった子どもたちと一緒に成長させてもらったように感じています。子どもたちと広い園庭で鬼ごっこをしたり、ドロジュンをしたり、たくさん身体を動かして遊んできました。自然に囲まれ、地域の方々との触れ合いにも親しんできました。また、研修で学んだわらべうた遊びを子どもたちと一緒にすることが大好きでした。かえで保育園の子どもたちともいろいろなわらべうた遊びをしていきたいと考えています。保護者の皆様にも、機会がございましたらご紹介していきたいと思えます！

そして、特技は小学生の頃に始めた剣道です。主将を務め、小さな大会ですが団体で優勝したこともあります。ちなみに有段者です。(三段)

食えることが人一倍大好きで、ごはんならおかわりで7杯は食べられます！子どもたちと一緒に体を動かして遊んだり、美味しいごはんを食べたり、絵本を読んだり、たくさんの思い出を一緒につくっていききたいと思えます。一人ひとりの子どもたちの気持ちに寄り添い、かえで保育園で過ごす時間が幸せで、楽しいと感じてもらえるよう、保育に努めていきたいです。これからどうぞ、よろしくお願い致します。

安藤 由佳

## 保護者の方からのおはなしコーナー

最近、保育園でオセロをよくしているようで、強いお友達に1度も勝ったことがないので、1回勝ちたいという息子の想いを2人のお兄ちゃんが立ち上がり、「にいに達しに勝てたら、その子にも勝てるよ」と、2人して勝負をしてくれるのはいいのだけれど、おまけで息子に勝たせてあげるだけでなく最後は、お兄ちゃん同士での真剣勝負が始まってしまおうという落ちで終わってしまいます。その真剣勝負で息子に教えて欲しいのだけれど、やっぱり未だにお友達には勝てないままの息子です。

だいち組 めぐみさん

入園当初は考えられなかった程、毎日笑顔で過ごしている娘。先生や友達と楽しそうに遊んでいる姿を見ると、かえで保育園に入っただけで本当に良かったな～と思います。家でもお兄ちゃんの真似をして一緒に踊ったり、後ろについてペンギンのように追いかける姿を見ると、とてもほっこりします。

めばえ組 かざきさん

「今から、避難訓練を始めます！」の声に驚いて振り返ると家中のぬいぐるみを連れてきて綺麗に並べ、お山座りを指示している娘の姿が。注意事項を説明し、お山座りが出来ていない？お人形には、「○○ちゃん出来てないよ。」しばらくして「はい、これで訓練はおしまいです。じゃあ皆さん遊びに行ってくださいよ～」と無事に訓練は終了。演出が細かくて面白く、思わずどの先生の真似だろうと想像してしまいました。

つぼみ組 ちほさん

毎日、私から「今日は保育園で何したん？」と聞くのですが、「意地悪しちゃった…」と悲しそうに言う日もあれば、「今日は野球してんで！」など楽しそうにお話してくれたりするのですが、最近は「今日の保育園のお話したいから早くお布団いこうよ！！ママもお仕事で何があったのか教えてよ！」と私の事まで聞いてくれるようになりました。

子どもとお話するのが凄く楽しいです。子どもの口から出る言葉や考えには毎日の様に驚かされ感心します。

ひかり組 ゆかさん

「初めてのこと」が苦手で、ありとあらゆる行事をうつむいて過ごした昨年度。今年は「2回目」なだけあってすべての行事を笑顔で楽しんでいます。そのうち「初めて」でも楽しめるようになるのかな？次の「初めて」にチャレンジする日が楽しみです。

いぶき組 じゅりさん

子どもと2人で夜ご飯を食べていた時、「ママの宝物知ってるで、私やる？」というので「大せいーい！」という会話の後で「私の宝物知ってる？この家の中やで」というので「うーん、何かな？」と考えると「ママ！」とめっちゃいい笑顔で言ってくれました。

それから続けて「2番目はめめち（ぬいぐるみ）」と言いかけたので「そこはパパいれたげて～」というので恥ずかしそうに「パパ」と言い直していました。

だいち組 えみさん

## ☆お台所から☆

だんだんと街中がクリスマスのイルミネーションに彩られ、シングルベルのメロディーを耳にすると本当に1年が過ぎるのがあっという間だなと年々強く感じます。寒さも本格的になり、冬野菜や果物がより美味しくなる季節です。寒さに負けない体の温まる食事を12月も作りたと思います。

### <11月の食育活動の様子>

- ・ひかり組がおやつミックスピザのトッピングをしました。子どもたちが順番にピザ生地にケチャップを塗っていると、「スプーンでくるくるしながら塗ったらいいよ」など順番を待っている子が優しく教えていました。各グループそれぞれ特徴があり、話を聞いてみると「チーズ大好きだからいっぱい乗せた」「綺麗に飾ったから美味しそうでしょ」「真ん中のほうに具を沢山乗せてみた」など思い思いのピザを作ってくれました。
- ・11月の献立ではデザートに“りんご又はみかん” おやつに“みたらし団子又はきな粉団子”と子どもたちが選べるメニューを取り入れてみました。デザートでは「うーん、どっちにしようかな」としばらく考えている子や、おやつのお団子では「きな粉の方を先に食べてからおかわりがあったらみたらしにしよう」と嬉しそうに話している子もいました。今後の献立にも取り入れていきたいと思います。
- ・みぞれ汁に使う大根おろしを幼児クラスの子も子どもたちがすりおろしました。おろし金を見ると「お家でも見た事あるよ」と話していました。すりおろしながらだいこんがだんだん小さくなっていくと「固い大根がふわふわしてる」「雪みたいだね」など感じた事を色々話してくれました。

### <12月に予定している食育活動>

- ・酒粕のにおいを嗅いでみる。・だいこんの葉を使ってふりかけ作り。
- ・12月20日に冬至のメニューで柚湯とかぼちゃと小豆を使っていとこ煮を作ります。又、冬至についての話しもします。

### <10月の献立 旬の食材>

たら	はくさい	だいこん	かぶ
ブロッコリー	こまつな	みかん	りんご

### <かえで保育園のおすすめレシピです♪>

#### <みたらし団子>

##### 【材料】

- ・白玉粉 100g
- ・水 約90cc
- ・濃口醤油 大さじ2
- ・みりん 大さじ2
- ・片栗粉 大さじ2
- ・砂糖 大さじ4

##### 【作り方】

- ①白玉粉に水を加え耳たぶくらいのやわらかさになるまで混ぜ、15個分ほどに分け、丸める。
- ②沸騰したお湯に団子を入れて茹で、団子が浮いてきたらすくって冷水で冷やす。
- ③醤油、みりん、片栗粉、砂糖を小鍋に入れ絶えずかき混ぜながら弱火で加熱し、とろみがしっかりつけば火を止める。
- ④団子にたれを絡ませて出来上がり。

※団子に加える水を100gの絹豆腐に変えると柔らかくもちもちした食感になります。



ピザのトッピングをしました。



だいこんをすりました



- ・ 感染症疾患が出る季節となりました。朝の検温・体調管理をし、不調の場合は必ずお知らせください。
- ・ 薄着で過ごすことを奨励しています。保温はしっかりしてください。肌着（おなかが隠れるサイズ）を着用してください。
- ・ 2歳児までは気温にあわせて床暖房が入ります。
- ・ 幼児クラスの上着は動きやすいものをご用意ください。

## こんなことしたよ♪

10月から11月にかけて保育参加がありました。

普段の子ども達の様子、楽しんでいる遊びを見て頂けたと思います。

また、子ども達と一緒に童心にかえり楽しめた、普段は会わない子ども達とも関わる事が出来て良かった、等たくさんの嬉しいご意見を頂いています。平日にも関わらずたくさんのご参加ありがとうございました

11月12日耳鼻科健診、21日には歯科健診がありました。歯科健診では上手に口を大きく開けて見てもらっていましたよ。



11月15日はお弁当日でした。

お天気にも恵まれ、気持ちのいいお日様を感じながらみんなで食べる事が出来ました。朝から「私のお弁当は卵焼きが入ってるの!」「僕のデザートはりんご♪」ととても楽しみにしていましたよ。

お忙しい中、ご準備ありがとうございました。



# ★お願い★

冬期保育は12月26日から1月6日までです。お仕事がお休みの方、育児休暇中の方は、ご家庭でゆっくりお過ごし下さい。1月4日はお弁当をご用意ください

12月29日～1月3日まで休園です。

**休み中の緊急連絡は**

080-3862-3352（園長携帯）まで後日、冬季保育の調査票を配布します。



## 12月予定

13日（金）砂場熱処理

4日・12日 予行練習

14日（土）成長発表会

17日（火）移動動物園

20日（金）保健師巡回

23日（月）西宮市監査

24日（火）お楽しみ会

25日（水）月例健診

29日～1月3日 冬期休暇

26日～1月6日 冬期保育

18日・26日 絵画の日

5日・19日・25日（午前・午後）体操の日